

# 安全データシート

## アクリボンDBC415

版番号 14.0 改訂日: 2024/04/01 整理番号: 10000044082 前回改訂日: 2023/3/30  
初回作成日: 2022/05/17

### 1. 化学品及び会社情報

化学品の名称 : アクリボンDBC415

#### 供給者の会社名称、住所及び電話番号

供給者の会社名称 : 三菱ケミカル株式会社  
MMA&デリバティブビジネスグループ  
MMA/PMDMAグローバルビジネス本部  
PMDMA技術部 (アクリライト担当)

住所 : 東京都千代田区丸の内一丁目1番1号  
100-8251

電話番号 : +81-367487526

電子メールアドレス :

FAX番号 : +81-366850785

緊急連絡電話番号 : 03-6748-7526

#### 推奨用途及び使用上の制限

推奨用途 : アクリル系樹脂の接着

使用上の制限 : 人へのばく露、環境へ広範囲に拡散させる使用用途は避けてください。

### 2. 危険有害性の要約

#### 化学品のGHS分類

引火性液体 : 区分2

急性毒性 (吸入) : 区分4

皮膚腐食性/刺激性 : 区分2

眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性 : 区分2A

呼吸器感作性 : 区分1

皮膚感作性 : 区分1

生殖毒性 : 区分2

特定標的臓器毒性 (単回ばく露) : 区分3 (気道刺激性, 麻酔作用)

特定標的臓器毒性 (反復ばく露) : 区分2 (呼吸器)

: 区分3

# 安全データシート

## アクリボンDBC415

版番号  
14.0

改訂日:  
2024/04/01

整理番号:  
10000044082

前回改訂日: 2023/3/30  
初回作成日: 2022/05/17

### GHS ラベル要素

絵表示又はシンボル



注意喚起語

: 危険

危険有害性情報

: H225 引火性の高い液体及び蒸気  
H315 皮膚刺激  
H317 アレルギー性皮膚反応を起こすおそれ。  
H319 強い眼刺激  
H332 吸入すると有害  
H334 吸入するとアレルギー、ぜん（喘）息又は呼吸困難を起こすおそれ  
H335 呼吸器への刺激のおそれ  
H336 眠気又はめまいのおそれ  
H361 生殖能又は胎児への悪影響のおそれの疑い  
H373 長期にわたる、又は反復ばく露により臓器（呼吸器）の障害のおそれ  
H402 水生生物に有害

注意書き

: **安全対策:**  
P201 使用前に取扱説明書を入手すること。  
P202 全ての安全注意を読み理解するまで取り扱わないこと。  
P210 熱、高温のもの、火花、裸火及び他の着火源から遠ざけること。禁煙。  
P233 容器を密閉しておくこと。  
P240 容器を接地しアースをとること。  
P241 防爆型の【電気機器／換気装置／照明機器／機器】を使用すること。  
P242 火花を発生させない工具を使用すること。  
P243 静電気放電に対する措置を講ずること。  
P260 ミスト／蒸気を吸入しないこと。  
P264 取扱い後は皮膚をよく洗うこと。  
P271 屋外又は換気の良い場所でだけ使用すること。  
P272 汚染された作業衣は作業場から出さないこと。  
P273 環境への放出を避けること。  
P280 保護手袋／保護衣／保護眼鏡／保護面を着用すること。  
P284 換気が不十分な場合、呼吸用保護具を着用すること。

### 応急措置:

P303 + P361 + P353 皮膚（又は髪）に付着した場合：直ちに汚染された衣類を全て脱ぐこと。皮膚を水【又はシャワー】で洗うこと。  
P304 + P340 + P312 吸入した場合：空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。気分が悪いときは医師に連絡すること。

# 安全データシート

## アクリボンD B C 4 1 5

版番号 14.0	改訂日: 2024/04/01	整理番号: 100000044082	前回改訂日: 2023/3/30 初回作成日: 2022/05/17
-------------	--------------------	-----------------------	---------------------------------------

---

P305 + P351 + P338 眼に入った場合：水で数分間注意深く洗うこと。次にコンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。

P308 + P313 ばく露又はばく露の懸念がある場合：医師の診察／手当てを受けること。

P333 + P313 皮膚刺激又は発しん（疹）が生じた場合：医師の診察／手当てを受けること。

P337 + P313 眼の刺激が続く場合：医師の診察／手当てを受けること。

P342 + P311 呼吸に関する症状が出た場合：医師に連絡すること。

P362 + P364 汚染された衣類を脱ぎ、再使用する場合には洗濯をすること。

P370 + P378 火災の場合：消火するために乾燥砂、粉末消火剤（ドライケミカル）又は耐アルコール性フォームを使用すること。

### 保管:

P403 + P233 換気の良い場所で保管すること。容器を密閉しておくこと。

P403 + P235 換気の良い場所で保管すること。涼しいところに置くこと。

P405 施錠して保管すること。

### 廃棄:

P501 内容物／容器を承認された処理施設に廃棄すること。

### 追加ラベル

以下の割合でこの混合物を構成する成分は、急性経口毒性が未知である：35 %

以下の割合でこの混合物を構成する成分は、急性経皮毒性が未知である：35 %

以下の割合でこの混合物を構成する成分は、急性吸入毒性が未知である：36.97 %

混合物中の次の割合の成分は、水生環境にとって危険有害性が未知である：36.97 %

### GHS 分類に該当しない他の危険有害性

知見なし。

# 安全データシート

## アクリボンDBC415

版番号 14.0 改訂日 2024/04/01 整理番号 10000044082 前回改訂日 2023/3/30 初回作成日 2022/05/17

### 3. 組成及び成分情報

化学物質・混合物の区別 : 混合物

#### 成分

化学名	CAS 番号	含有量 (% w/w)	化審法 (ENCS)/安衛法 (ISHL) 番号
ポリメタクリル酸メチル	9011-14-7	>= 30 - <= 40	6-524
メタクリル酸メチル	80-62-6	>= 60 - <= 70	2-1036
ジメタクリル酸エチレングリコール	97-90-5	<5	2-1056, 2-1059
ヒドロキノン	123-31-9	< 0.005	3-543

### 4. 応急措置

- 一般的アドバイス : 危険域から避難させる。  
この安全データシートを担当医に見せる。  
被災者を一人にしない。
- 吸入した場合 : 直ちに医師または日本中毒情報センターに連絡する。  
意識がない場合は、回復体勢にし、医師の指示を受ける。  
空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。
- 皮膚に付着した場合 : 皮膚の炎症が継続する場合は、医師に連絡すること。  
皮膚に付着した場合は、水で十分にすすぐこと。  
衣服に付いた場合、衣服を脱ぐ。  
直ちに石けんと多量の水で洗い流す。  
直ちに医師に連絡すること。
- 眼に入った場合 : 直ちに、眼を十分な流水で、勢いよく洗い流す。  
コンタクトレンズをはずす。  
損傷していない眼を保護する。  
洗浄中は眼を大きく開ける。  
眼刺激が治まらない場合は、専門医に相談する。  
医師の指示を受ける。
- 飲み込んだ場合 : 気道を確保する。  
ミルクやアルコール飲料を与えない。  
意識がない場合、口から絶対に何も与えないこと。  
症状が持続する場合は、医師に連絡する。  
直ちに被災者を病院に連れて行く。  
飲み込んだ場合、医療従事者の指示がない限り無理に吐かせない。  
医療機関で診察を受けてください。

# 安全データシート

## アクリボンD B C 4 1 5

版番号 14.0 改訂日 2024/04/01 整理番号 10000044082 前回改訂日 2023/3/30 初回作成日 2022/05/17

急性症状及び遅発性症状の最も重要な徴候症状 : 皮膚刺激  
アレルギー性皮膚反応を起こすおそれ。  
強い眼刺激  
吸入すると有害  
吸入するとアレルギー、ぜん（喘）息又は呼吸困難を起こすおそれ  
呼吸器への刺激のおそれ  
眠気又はめまいのおそれ  
生殖能又は胎児への悪影響のおそれの疑い  
長期にわたる、又は反復ばく露による臓器の障害のおそれ  
医師に対する特別な注意事項 : 症状に応じた治療を行う。

### 5. 火災時の措置

適切な消火剤 : 耐アルコール泡消火剤  
二酸化炭素 (CO2)  
粉末消火剤  
使ってはならない消火剤 : 大型棒状の水  
特有の危険有害性 : 火災時には消火用水が排水溝ないし水路へ流出しないよう防止すること。  
火災による有害ガス発生のおそれ。  
特有の消火方法 : 汚染した消火廃水は回収すること。排水施設に流してはならない。  
火災の残留物や汚染した消火廃水は、関係法規に従って処理する。  
火災時の安全上の理由から、缶をそれぞれ別々に保管する密閉容器を水スプレーで完全に冷却する。  
消火を行う者の保護 : 消火活動時には必要に応じて 自給式呼吸装置を装着する。  
適切な保護具を着用すること。

### 6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置 : 保護具を使用する。  
十分な換気を確保する。  
付近の発火源となるものを取り除く。  
安全な場所に避難する。  
蒸気がたまと爆発性濃縮物が生成されるので要注意。蒸気は低いところにたまる可能性あり。  
環境に対する注意事項 : 製品を排水施設に流してはならない。  
安全を確認してから、もれやこぼれを止める。  
製品が河川、湖水または排水管を汚染した場合は、関連当局に連絡する。

# 安全データシート

## アクリボンDBC415

版番号	改訂日:	整理番号:	前回改訂日: 2023/3/30
14.0	2024/04/01	100000044082	初回作成日: 2022/05/17

封じ込め及び浄化の方法及び機材 : 漏出物を閉じ込め、不可燃性の吸収剤（砂、土、珪藻土、バーミキュライト等）を使用して集め、地域/国の規則に従い廃棄するために容器に入れる（項目 13 を参照）。

### 7. 取扱い及び保管上の注意

#### 取扱い

火災及び爆発の予防 : 裸火又は高温物に噴霧しないこと。  
静電気放電（有機物の蒸気を発火させる場合あり）を防止するために必要な処置をとる。  
防爆装置でのみ使用する。  
炎、熱および発火源から遠ざける。  
  
作業室の換気や排気を十分に行う。

#### 安全取扱注意事項

: エアゾールの発生を避けること。  
蒸気/粉じんを吸い込まない。  
曝露を避ける一使用前に特別指示を受ける。  
皮膚や眼への接触を避けること。  
個人保護については項目 8 を参照する。  
作業エリアでは、喫煙、飲食は禁止する。  
静電気放電に対して予防処置手段をとること。  
作業室の換気や排気を十分に行う。  
内部が陽圧になっていることがあるので、ふたを開ける場合には、慎重に行う。  
洗浄水は、国及び地方自治体の規制に従い処分する。  
皮膚感作性並びに喘息、アレルギー、慢性または反復性の呼吸器疾病を有する人は、この製剤を使用するすべての工程に従事しないことが望ましい。

#### 接触回避

: 強酸と強酸化剤  
重合化開始剤  
過酸化物

#### 衛生対策

: 使用中は飲食しないこと。  
使用中は禁煙。  
休憩前や終業時には手を洗う。

# 安全データシート

## アクリボンD C 4 1 5

版番号 14.0 改訂日 2024/04/01 整理番号 10000044082 前回改訂日 2023/3/30 初回作成日 2022/05/17

### 保管

安全な保管条件 : 禁煙。  
容器を密閉し、乾燥した換気の良い場所に保管する。  
一度開けた容器は注意深く再度密封し、漏れを避けるためまっすぐ立てておく。  
ラベルの予防措置を遵守する。  
電気設備及び作業資材は技術安全基準に準拠していなければならない。  
熱源や点火、直射日光を避け、5～25度の温度で換気の良い乾燥した場所に保管する。  
爆発性、酸化剤、有機過酸化物および伝染性製品と共に保管しない。  
遮光されている冷所で保管。

推奨された保管温度 :  $\leq 25^{\circ}\text{C}$

保管期間 :  $\leq 180$  Days  
保管安定性に関する詳しい情報 : 推奨保管温度以上では劣化しやすい。  
報

## 8. ばく露防止及び保護措置

### 作業環境における成分別暴露限界/許容濃度

成分	CAS 番号	指標 (暴露形態)	管理濃度 / 基準濃度 / 許容濃度	出典
メタクリル酸メチル	80-62-6	OEL-M	8.3 mg/m <sup>3</sup>	日本産業衛生学会 (許容濃度)
詳細情報: 気道感作性物質, 第2群 人間に対しておそらく感作性があると考えられる物質., 皮膚感作性物質, 第2群 人間に対しておそらく感作性があると考えられる物質.				
		TWA	50 ppm	ACGIH
		STEL	100 ppm	ACGIH
ヒドロキノン	123-31-9	TWA	1 mg/m <sup>3</sup>	ACGIH

### 生物学的職業暴露限度

成分	CAS 番号	対象物質	生物学的試料	試料採取時期	許容濃度	出典
ヒドロキノン	123-31-9	メトヘモグロビン	血液中	シフト中または終了時	5% Hb	ACGIH BEI

# 安全データシート

## アクリボンD B C 4 1 5

版番号 14.0 改訂日: 2024/04/01 整理番号: 10000044082 前回改訂日: 2023/3/30  
初回作成日: 2022/05/17

### 保護具

- 呼吸用保護具 : この製品の蒸気にさらされる危険性がある作業では、呼吸用保護具を使う。  
全般的および局所的排気換気は蒸気への露出を推奨限界値未満に維持するために推奨される。濃度が推奨限界値を超過しているまたは不明な場所では適切な呼吸保護具を着用する。  
OSHA 呼吸装置規制 (29 CFR 910.134) に従い、また、NIOSH/MSHA 認可呼吸装置を使用する。空気浄化呼吸装置による有害化学品への露出に対する保護は限られている。未制御放出の可能性がある、露出レベルが不明な場合、または空気浄化呼吸装置が適切な保護を提供しないようなその他の状況においては、正圧空気供給呼吸装置を使用する。  
局所換気を行い使用する。
- 手の保護具
- 備考 : 製造メーカーと相談の上、作業場所に相応しい防護手袋を着用すること。
- 眼の保護具 : 純水入りの眼洗浄ボトル  
密着性の高い安全ゴーグル  
作業中に異常が起きた際は、保護面、保護服を着用する。
- 皮膚及び身体の保護具 : 不浸透性衣服  
作業場にある危険物質の量および濃度に応じて、保護具を選択する。

### 9. 物理的及び化学的性質

- 物理状態 : 粘性液体
- 色 : 透明, 無色
- 臭い : エステル臭  
: データなし
- 沸点, 初留点及び沸騰範囲 : 100.8 °C  
類似組成製品による参考情報
- 可燃性 (液体) : 可燃性
- 爆発下限界及び爆発上限界/可燃限界
- 爆発範囲の上限 / 可燃上限値 : 爆発範囲の上限  
12.5 % (V)  
類似する物質から得られたデータに基づく
- 爆発範囲の下限 / 可燃下限値 : 爆発範囲の下限  
2.1 % (V)  
類似する物質から得られたデータに基づく



# 安全データシート

## アクリボンドBC415

版番号 14.0 改訂日: 2024/04/01 整理番号: 10000044082 前回改訂日: 2023/3/30  
初回作成日: 2022/05/17

引火点	: 10 - 15 °C
分解温度	: データなし
pH	: データなし
自然発火温度	: データなし
粘度 動粘度 (動粘性率)	: データなし
溶解度 水溶性	: 9.9 g/l 類似する物質から得られたデータに基づく
溶媒に対する溶解性	: 可溶 溶剤: アセトン
n-オクタノール／水分配係数 (log 値)	: データなし
蒸気圧	: データなし
密度及び／又は相対密度 密度	: データなし
相対ガス密度	: データなし
粒子特性 粒子サイズ	: 非該当

### 10. 安定性及び反応性

反応性 化学的安定性	: 推奨保管条件下では安定。 : 通常の状態では安定。 熱、光、過酸化物、鉄錆にばく露すると容易に重合が起こる。 通常製品は安定化された状態で供給される。許容された保存期限および / または保存温度を顕著に超えた場合、製品は発熱を伴い重合することがある。
危険有害反応可能性	: 可燃性ガスを発生し火災や爆発のおそれ 推奨保管条件下では安定。
避けるべき条件	: 熱、炎、火花。 極端な温度と直射日光。
混触危険物質	: 強酸と強酸化剤 重合化開始剤 過酸化物

# 安全データシート

## アクリボンD B C 4 1 5

版番号 14.0 改訂日: 2024/04/01 整理番号: 100000044082 前回改訂日: 2023/3/30  
初回作成日: 2022/05/17

### 11. 有害性情報

#### 急性毒性

吸入すると有害

#### 製品:

急性毒性（経口） : 急性毒性推定値: > 2,000 mg/kg  
方法: 計算による方法

急性毒性（吸入） : 急性毒性推定値: 11.15 mg/l  
曝露時間: 4 h  
試験環境: 蒸気  
方法: 計算による方法

#### 成分:

##### メタクリル酸メチル:

急性毒性（経口） : LD50 (ラット): 8,500 mg/kg

急性毒性（吸入） : LC50 (ラット): 7093 ppm  
曝露時間: 4 h  
試験環境: 蒸気

試験環境: 蒸気

アセスメント: 短時間の吸入後に中程度の毒性を生じる

急性毒性（経皮） : LD0 (ウサギ): 37,500 mg/kg

##### ジメタクリル酸エチレングリコール:

急性毒性（経口） : LD50 (ラット): 8,700 mg/kg

急性毒性（経皮） : LD0 (ラット): 2,000 mg/kg

##### ヒドロキノン:

急性毒性（経口） : LD50 (ラット): 302 mg/kg

急性毒性（経皮） : LD0 (ラット): 3,840 mg/kg

#### 皮膚腐食性/刺激性

皮膚刺激

#### 製品:

備考 : 皮膚に刺激/皮膚炎を起すことがある。

# 安全データシート

## アクリボンDBC415

版番号 14.0 改訂日: 2024/04/01 整理番号: 100000044082 前回改訂日: 2023/3/30  
初回作成日: 2022/05/17

---

### 成分:

#### メタクリル酸メチル:

結果 : 皮膚刺激性

#### ヒドロキノン:

種 : ウサギ  
結果 : 皮膚刺激なし

#### 眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性

強い眼刺激

### 製品:

結果 : 眼への刺激

備考 : 眼に永久的な損傷が起こることがある。

### 成分:

#### ジメタクリル酸エチレングリコール:

種 : ウサギ  
結果 : 眼への刺激なし

#### ヒドロキノン:

結果 : 重篤な眼の損傷

#### 呼吸器感作性又は皮膚感作性

##### 皮膚感作性

アレルギー性皮膚反応を起こすおそれ。

##### 呼吸器感作性

吸入するとアレルギー、ぜん（喘）息又は呼吸困難を起こすおそれ

### 製品:

備考 : 感作を起こす。

### 成分:

#### メタクリル酸メチル:

結果 : 吸入による感作発生の可能性。  
: 人間の皮膚に高率の過敏性が発現する可能性または証拠がある。

# 安全データシート

## アクリボンD B C 4 1 5

版番号 14.0 改訂日: 2024/04/01 整理番号: 100000044082 前回改訂日: 2023/3/30  
初回作成日: 2022/05/17

---

### ジメタクリル酸エチレングリコール:

試験タイプ : マキシマイゼーション試験  
暴露の主経路 : 皮膚接触  
種 : モルモット  
結果 : 人間の皮膚に低率から中程度の過敏性が発現する可能性または証拠がある。

### ヒドロキノン:

結果 : ヒトへの皮膚感作性の兆候または証拠があり。

### 生殖細胞変異原性

利用可能な情報に基づく限り分類されない。

### 成分:

#### ジメタクリル酸エチレングリコール:

in vitroでの遺伝毒性試験 : 試験タイプ: 遺伝子突然変異試験  
テストシステム: マウスリンパ腫細胞  
結果: 陰性

試験タイプ: in vitro 染色体異常試験  
テストシステム: 人間のリンパ球  
結果: 陽性

In vivoでの遺伝子毒性 : 試験タイプ: 小核試験  
種: マウス  
結果: 陰性

試験タイプ: 不定期 DNA 合成試験  
種: ラット  
細胞型: 肝細胞  
結果: 陰性

### ヒドロキノン:

生殖細胞変異原性 - アセスメント : ヒト生殖細胞で遺伝性の突然変異を誘発すると推定されている。

### 発がん性

利用可能な情報に基づく限り分類されない。

### 成分:

#### ヒドロキノン:

発がん性 - アセスメント : ヒトに対する発がん性が疑われる

# 安全データシート

## アクリボンD B C 4 1 5

版番号 14.0 改訂日: 2024/04/01 整理番号: 100000044082 前回改訂日: 2023/3/30  
初回作成日: 2022/05/17

---

### 生殖毒性

生殖能又は胎児への悪影響のおそれの疑い

#### 製品:

生殖毒性 - アセスメント : 動物実験によると性的機能および繁殖力および/または発育への悪影響があることが一部立証されている。

### 特定標的臓器毒性 (単回ばく露)

呼吸器への刺激のおそれ  
眠気又はめまいのおそれ

#### 成分:

##### メタクリル酸メチル:

アセスメント : この物質または混合物は特定標的臓器毒性物質、単回ばく露、気道炎症を伴う区分3に分類される。  
: この物質または混合物は特定標的臓器毒性物質、単回ばく露、麻酔性効果を伴う区分3に分類される。

##### ヒドロキノン:

標的臓器 : 中枢神経系  
アセスメント : この物質 または混合物は特定標的臓器毒性物質、単回ばく露、区分1に分類。

### 特定標的臓器毒性 (反復ばく露)

長期にわたる、又は反復ばく露により臓器 (呼吸器) の障害のおそれ

#### 成分:

##### ジメタクリル酸エチレングリコール:

標的臓器 : 呼吸器  
アセスメント : この物質または混合物は特定標的臓器毒性物質、反復ばく露、区分1に分類される。

##### ヒドロキノン:

標的臓器 : 腎臓, 肝臓  
アセスメント : この物質または混合物は特定標的臓器毒性物質、反復ばく露、区分2に分類される。

### 誤えん有害性

利用可能な情報に基づく限り分類されない。

#### 詳細情報

# 安全データシート

## アクリボンD B C 4 1 5

版番号 14.0 改訂日: 2024/04/01 整理番号: 100000044082 前回改訂日: 2023/3/30  
初回作成日: 2022/05/17

### 製品:

備考 : 過剰暴露により起こりうる症状には、頭痛、めまい、疲労感、吐き気、嘔吐がある。  
TLV より著しく高い濃度は、昏睡効果を起こすことがある。  
溶剤は皮膚を脱脂することがある。

## 12. 環境影響情報

### 生態毒性

#### 成分:

##### メタクリル酸メチル:

魚毒性 : LC50 (Lepomis macrochirus (ブルーギル)): 191 mg/l  
曝露時間: 96 h

ミジンコ等の水生無脊椎動物 : EC50 (Daphnia magna (オオミジンコ)): 83.8 mg/l  
に対する毒性 : エンドポイント: 遊泳阻害  
曝露時間: 48 h  
方法: OECD 試験ガイドライン 202  
GLP: 該当

藻類/水生生物に対する毒性 : 最大無影響濃度 (Pseudokirchneriella subcapitata (緑藻)):  
86.3 mg/l  
エンドポイント: 生長阻害  
曝露時間: 72 h  
方法: OECD 試験ガイドライン 201  
GLP: 該当

ミジンコ等の水生無脊椎動物 : 最大無影響濃度 (Daphnia magna (オオミジンコ)): 3.53 mg/l  
に対する毒性 (慢性毒性) : エンドポイント: 繁殖阻害  
曝露時間: 21 Days  
方法: OECD 試験ガイドライン 211  
GLP: 該当

# 安全データシート

## アクリボンDBC415

版番号 14.0 改訂日: 2024/04/01 整理番号: 100000044082 前回改訂日: 2023/3/30  
初回作成日: 2022/05/17

### ヒドロキノン:

魚毒性 : LC50 (Pimephales promelas (ファットヘッドミノウ)): 0.044 mg/l  
曝露時間: 96 h

藻類/水生生物に対する毒性 : 最大無影響濃度 (Pseudokirchneriella subcapitata (緑藻)): 0.0015 mg/l  
曝露時間: 72 h

M-ファクター (水生環境有害性 短期 (急性)) : 10

ミジンコ等の水生無脊椎動物に対する毒性 (慢性毒性) : 最大無影響濃度 (Daphnia magna (オオミジンコ)): 0.003 mg/l  
曝露時間: 21 d

M-ファクター (水生環境有害性 長期 (慢性)) : 1

### 残留性・分解性

#### 成分:

##### メタクリル酸メチル:

生分解性 : 生化学的酸素要求 (量)  
結果: 急速分解性がある  
生分解: 94.3 %  
曝露時間: 14 d

##### ヒドロキノン:

生分解性 : 生化学的酸素要求 (量)  
結果: 急速分解性がある  
曝露時間: 2 週  
動的:  
: 70 %

### 生体蓄積性

#### 成分:

##### メタクリル酸メチル:

n-オクタノール/水分配係数 : log Pow: 1.38 (20 ° C)  
(log 値) 備考: 測定値

##### ヒドロキノン:

n-オクタノール/水分配係数 : log Pow: 0.59  
(log 値)

### 土壤中の移動性

データなし

# 安全データシート

## アクリボンドBC415

版番号 14.0 改訂日: 2024/04/01 整理番号: 10000044082 前回改訂日: 2023/3/30  
初回作成日: 2022/05/17

### オゾン層への有害性

非該当

### 他の有害影響

#### 製品:

生態系に関する追加情報 : 職業上の規則に反した取り扱い、処理が行われた場合は、環境に及ぼす危険性を除外して考えることはできない。  
水生生物に有害

## 13. 廃棄上の注意

### 廃棄方法

残余廃棄物 : 本製品を排水溝、水路、地面に流さないこと。  
薬剤または使用済み容器で池、水路、溝を汚染しないこと。  
認可された廃棄物処理業者へ委託する。

汚染容器及び包装 : 残りの容器を空にする  
製品入り容器と同様に処分する。  
空の容器を再使用しない。  
空のドラムを燃やしたり、切断トーチを使用しないこと

## 14. 輸送上の注意

### 国際規制

#### UNRTDG

国連番号 (UN number) : UN 1133  
国連輸送名 (Proper shipping name) : ADHESIVES  
国連分類 (Class) : 3  
容器等級 (Packing group) : II  
ラベル (Labels) : 3

#### 航空輸送 (IATA-DGR)

UN/ID 番号 (UN/ID number) : UN 1133  
国連輸送名 (Proper shipping name) : Adhesives  
国連分類 (Class) : 3  
容器等級 (Packing group) : II  
ラベル (Labels) : Flammable Liquids  
梱包指示 (貨物機) (Packing instruction (cargo aircraft)) : 364  
梱包指示 (旅客機) (Packing instruction (passenger aircraft)) : 353



# 安全データシート

## アクリボンD B C 4 1 5

版番号 14.0 改訂日: 2024/04/01 整理番号: 100000044082 前回改訂日: 2023/3/30  
初回作成日: 2022/05/17

### 海上輸送 (IMDG-Code)

国連番号 (UN number) : UN 1133  
国連輸送名 (Proper shipping name) : ADHESIVES  
国連分類 (Class) : 3  
容器等級 (Packing group) : II  
ラベル (Labels) : 3  
EmS コード (EmS Code) : F-E, S-D  
海洋汚染物質 (該当・非該当) (Marine pollutant) : 非該当

**MARPOL 73/78 附属書 II 及び IBC コードによるばら積み輸送される液体物質 (該当・非該当)**  
供給された状態の製品には非該当。

### 国内規制

国の特定の法規制は、項目 15 を参照する。

### 特別の安全対策

ここに提供されている輸送分類は、情報の目的だけのため、本安全データシートの中で解説されるように開梱された材料の特性のみに基づいています。輸送分類は、交通手段、パッケージサイズと地域や地方の規則の変更により、変更される可能性があります。

## 15. 適用法令

### 関連法規

#### 消防法

第 4 類, 第一石油類, 非水溶性液体, (200 リットル), 危険等級 II

#### 化審法

優先評価化学物質

化学名	番号
ヒドロキノン	203

#### 労働安全衛生法

製造等が禁止される有害物

非該当

製造の許可を受けるべき有害物

非該当

健康障害防止指針公表物質

非該当

変異原性の認められた化学物質 (既存化学物質)

非該当

変異原性の認められた化学物質 (新規届出化学物質)

非該当

# 安全データシート

## アクリボンDBC415

版番号  
14.0

改訂日:  
2024/04/01

整理番号:  
10000044082

前回改訂日: 2023/3/30  
初回作成日: 2022/05/17

### 名称等を通知すべき危険物及び有害物

法第 57 条の 2 (施行令別表第 9)

化学名	番号	含有量 (%)
メタクリル酸メチル	557	>=60 - <70 : 営業秘密
ジメタクリル酸エチレングリコール※	—	< 5 : 営業秘密

※ジメタクリル酸エチレングリコールは令和 7 年 4 月 1 日以降

### 名称等を表示すべき危険物及び有害物

法第 57 条 (施行令第 18 条)

化学名	番号
メタクリル酸メチル	557
ジメタクリル酸エチレングリコール※	—

※ジメタクリル酸エチレングリコールは令和 7 年 4 月 1 日以降

### 皮膚等障害化学物質

労働安全衛生規則 594 条の 2

化学名	番号
メタクリル酸メチル	557
ジメタクリル酸エチレングリコール	—

### がん原性物質 (労働安全衛生規則第 577 条の 2)

非該当

### 特定化学物質障害予防規則

非該当

### 鉛中毒予防規則

非該当

### 四アルキル鉛中毒予防規則

非該当

### 有機溶剤中毒予防規則

非該当

### 労働安全衛生法施行令 - 別表第一 (危険物)

引火性の物

### 毒物及び劇物取締法

### 化学物質排出把握管理促進法

### 第 1 種指定化学物質

化学名	番号	含有量 (%)
メタクリル酸メチル	420	62

### 火薬類取締法

非該当

### 高圧ガス保安法

非該当

# 安全データシート

## アクリボンD B C 4 1 5

版番号 改訂日: 整理番号: 前回改訂日: 2023/3/30  
14.0 2024/04/01 100000044082 初回作成日: 2022/05/17

### 船舶安全法

危規則第 2, 3 条危険物告示別表第 1: 引火性液体類

### 航空法

施行規則第 194 条危険物告示別表第 1: 引火性液体

### 海洋汚染等及び海上災害の防止に関する法律

ばら積み輸送 : 有害液体物質(Y 類)

個品輸送 : 海洋汚染物質には該当しない

### 水質汚濁防止法

有害物質 (法第 2 条、施行令第 2 条、排出基準を定める省令第 1 条)

指定物質 (法第 2 条 4 項、施行令第 3 条の 3)

### 廃棄物の処理及び清掃に関する法律

特別管理産業廃棄物

## 16. その他の情報

本 SDS において労働安全衛生法の通知対象物質の濃度が幅表示の場合は、営業秘密である場合を含みます

### その他の略語の全文

ACGIH : 米国。ACGIH 限界閾値 (TLV)  
ACGIH BEI : ACGIH - 生物学的暴露指標 (BEI)  
日本産業衛生学会 (許容濃度) : 日本産業衛生学会 許容濃度等の勧告 -I. 化学物質の許容濃度度)  
ACGIH / TWA : 8 時間、時間加重平均  
ACGIH / STEL : 短時間暴露限界  
日本産業衛生学会 (許容濃度) / OEL-M : 許容濃度

AIIIC - オーストラリアの工業化学品インベントリ; ANTT - ブラジル国家輸送機関; ASTM - 米国材料試験協会; bw - 体重; CMR - 発ガン性、変異原性、生殖毒性があるとされる物質; DIN - ドイツ規格協会基準; DSL - 国内物質リスト (カナダ); ECx - 任意の X%の反応を及ぼすと考えられる濃度; ELx - 任意の X%の反応を及ぼすと考えられる負荷割合; EmS - 緊急時のスケジュール; ENCS - 化審法の既存化学物質リスト; ErCx - 任意の X%の反応を及ぼすと考えられる成長率; ERG - 緊急対応の手引き; GHS - 世界調和システム; GLP - 試験実施規範; IARC - 国際がん研究機関; IATA - 国際航空運送協会; IBC - 危険化学品のばら積み運送のための船舶の構造及び設備に関する国際規則; IC50 - 50%阻害濃度; ICAO - 国際民間航空機関; IECSC - 中国現有化学物質名録; IMDG - 国際海上危険物規程; IMO - 国際海事機関; ISHL - 労働安全衛生法 (日本); ISO - 国際標準化機構; KECI - 韓国既存化学物質名録; LC50 - 50%致死濃度; LD50 - 50%致死量 (半数致死量); MARPOL - 船舶による汚染の防止のための国際条約; n. o. s. - 他に品名が明示されているものを除く; Nch - テリ規則; NO(A)EC - 無有害性影響濃度; NO(A)EL - 無有害性影響レベル; NOELR - 無有害性影響負荷割合; NOM - メキシコ公式規則; NTP - 米国国家毒性プログラム; NZIoC - ニュージーランド化学物質台帳; OECD - 経済協力開発機構; OPPTS - 化学物質安全性・公害防止局; PBT - 難分解性・生体蓄積性・有毒性(物質); PICCS -

# 安全データシート

## アクリボンドBC415

版番号	改訂日:	整理番号:	前回改訂日: 2023/3/30
14.0	2024/04/01	100000044082	初回作成日: 2022/05/17

---

フィリピン化学物質インベントリー; (Q)SAR - (定量的) 構造活性相関; REACH - 化学物質の登録、評価、認可および登録 (REACH) に関する規則 (EC) No 1907/2006; SADT - 自己加速分解温度; SDS - 安全データシート; TECI - タイに既存の化学物質のインベントリ; TCSI - 台湾化学物質インベントリー; TDG - 危険物輸送; TSCA - 有害物質規制法 (米国); UN - 国連; UNRTDG - 国際連合危険物輸送勧告; vPvB - 非常に難分解及び非常に高蓄積性; WHMIS - 作業場危険有害性物質情報システム

記載内容は、現時点で入手できる資料、情報にもとづき、当該製品の安全な取り扱い、使用、処理、保管、輸送、廃棄、漏洩時の処理等のために作成されたものですが、記載されている情報はいかなる保証をするものではなく、品質を特定するものでもありません。また、この SDS のデータはここで指定された物質についてのみのものであり、指定されていない工程での使用や、指定されていない材料と組み合わせた使用に関しては有効ではありません。

JP / JA